

I 平成27年度みえスタディ・チェックの概要

1 目的

- ・ 児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・ 学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、子どもたちの学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

2 実施日及び対象学年・対象教科、実施率

	平成27年度	平成26年度
実施日	原則年1回【小5、中2は年2回】 ○第1回 ・10月21日(水) ※上記実施日を含め、10月19日(月)～10月23日(金)までの期間に実施 ○第2回 ・2月3日(水) ※上記実施日を含め、2月1日(月)から2月5日(金)までの期間に実施	年2回 ○試行実施 ・6月27日(金)～7月11日(金) ○第1回 ・9月26日(金)～10月24日(金) ・11月20日(木)～12月19日(金) ※どちらかを選択 ○第2回 ・2月20日(金)～3月20日(金) 《小6、中2は》 ・1月16日(金)～2月20日(金)
対象教科 対象学年	・国語、算数・数学、理科 ・小学校4年・5年、中学校1年・2年 ※第2回は小学校5年、中学校2年のみで国語、算数・数学で実施	・国語、算数・数学、理科 ・小学校1～6年(理科は3～6年) ・中学校1～3年 ※小学校1年生については学年末のみ ※理科については、各学年、学年末のみ
実施率	○第1回 小学校 100% 中学校 100% ○第2回 小学校 100% 中学校 100%	○試行実施 小学校 62.9% 中学校 56.3% ○第1回、第2回 小学校 81.0% 中学校 78.0%

3 分析総括（◇相当数の児童生徒が理解できている点、◆課題がある点）

（1）小学校

① 国語

- ◇ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができる。
- ◆ 話の内容を正確に引用して、自分の考えを書くことに課題がある。
- ◆ 登場人物の心情やその変化を叙述をもとに読むことに課題がある。

② 算数

- ◇ 基本的な加法、減法、除法等四則が混合した計算をすることができる。
- ◆ 図形の領域について、論理的に考え、表現することに課題がある。
- ◆ 与えられた事柄から、理由や方法を導き出し、既習の算数の用語を用いて表現することに課題がある。

③ 理科

- ◇ 理科室の使い方のきまりや、安全に実験を行うための方法を身につけている。
- ◆ 記述式問題の無解答率が高い状況にある。
- ◆ 既習事項を関連づけて考え、条件に合った判断をすることに課題がある。

（2）中学校

① 国語

- ◇ 中学校第1学年までに学習した漢字を正しく読むことができる。
- ◆ 自分の考えや気持ちを、根拠を明確にして書くことに課題がある。
- ◆ 引用したり要約したりして、聞き取った内容を適切にまとめることに課題がある。

② 数学

- ◇ 方程式を解く場面における等式の性質の使い方について理解している。
- ◆ 基準量・比較量・割合の関係を理解して数量関係を式にすることに課題がある。
- ◆ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

③ 理科

- ◇ 示された結果をもとにして、示された考察の内容を検証することができる。
- ◆ 記述式問題の無解答率が高い。また、第2学年においては、短答式や作図式の問題の無解答率も高い。
- ◆ 実験の結果を分析して解釈し、考察して、新たな実験を計画することに課題がある。